

令和3年 第3回 雫石町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和4年2月21日（月）午前9時30分から午前10時30分

2 場 所 雫石町役場 2階 201号会議室

3 出席者

町 長 猿 子 恵 久

副町長 若 林 武 文

教育長 佐 藤 嘉 彦

教育長職務代理者 岩 持 斗季子

教育委員 吉 田 博 輝

教育委員 千 葉 昇

教育委員 菅 原 徹

4 説明のために出席した職員

教育次長 高 橋 賢 秀

生涯学習スポーツ課長 徳 田 秀 一

学校教育課 指導主事 黄川田 泰 幸

課長補佐 矢 幅 泰 子

政策推進課長 川 崎 欣 広

係 長 吉 田 耕 大

主 任 岡 本 麗 理

5 傍 聴 者 な し

6 挨 拶

猿子町長： 3回目の雫石町総合教育会議を開会するにあたり教育委員の皆様方にはお忙しいところご出席賜りましてありがとうございます。日頃より本町の教育行政につきましては多大なるご協力をいただき御礼申し上げます。

小中学校はおかげさまである程度順調にきておりますが一番危惧するのはコロナであります。子ども達にうつるとというのが一番懸念されます。

雫石高校への入学者は調整前の志願者数が23名となっております。先般校長先生と懇談をしながら、県外から入学者を増やしたいということで私は賛成です。

小中学校の教育は、町にとって大事なことです。皆様には大変なるご協力をお願いしながら、今後ともよろしくお願い申し上げまして一言挨拶にかえる次第でございます。

佐藤教育長： 本日は町長、副町長をはじめ教育委員の皆様にもご出席をいただき本当にありがとうございました。また日頃より教育行政に対し、貴重なご意見、ご協力をいただいておりますことに教育委員会として深く感謝申し上げます。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症に関しては、学校内外で教育活動の感染防止対策に全力で取り組み、児童生徒への協力を進めてまいりました。今年度に入ってから児童生徒及び家族等のコロナ感染により止む無く休校措置を取った学校もありますが、残された3学期の日々を充実したものにするとともに、3月の卒業式が子ども達にとって学校生活最後の良き日となるよう教育活動を最後まで進めてまいります。

本日の総合教育会議では令和3年度の施策方針についてのまとめをご説明させていただきますので、今後に向けて率直なご意見、ご感想をお聞かせいただければと思います。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 7 議 題

### (1) 教育委員会施策の今年度の振り返りについて

#### 【(1) について教育長より説明】

町長： ただいま、(1) についてご説明がございました。  
このことにつきまして御一方ずつご質問、ご意見いただきたいと思  
います。

岩持委員： 1月に子育て寺子屋事業の支援で山本雪苑先生にお願いし、子ども達と花遊びというものに関わらせていただいたのですがゲームやスポー

ツをしている時とは全く違う優しい表情で活けていました。こういう優しい表情を久しぶりに見ることができ今後もぜひ続けて行きたいと思いました。

もう一つですが、去年予定していてできなかった防災キャンプというのでしょうか、子ども達にもし万が一何かあった時にはどのように行動するか、自分の命を守る、大切な人の命を守るという教育を継続していただきたいと思います。

教育長： ご意見をいただいたとおり子育て寺子屋事業については公民館を中心にやらせていただき、来年度は全地区に広げて進め、なるべく子ども達をたくさん集めたい、人数は限られるわけですが最大限のところ子ども達を活かしていきたいと思っています。

防災キャンプについては、今お話を伺いコロナということが理由にならないと思いますが何とか来年度、危機管理の中で自分達の命を守るための一つの手段を考えていければ良いかなと思っています。

町長： その花はどちらが主催でしたか。

岩持委員： 雫石町主催でNPO まちサが雫石さんがやっております、私は御明神地区でいつかお花を通じて一本の花にも命があるとか子ども達の情操教育になると思い、やりたいということで今回雪苑先生が手伝ってくださりました。コロナ禍でみんながどこかイライラ、とげとげしかったのですが、花に触れ優しい気持ちになる時間は大事だなと思いました。

町長： 部会の若い人たちも保育所へ行きやっていますが、何度かやっているうちにその子どもの反応が変わるといいます。良いことだなと思っています。ボランティアでやっている人たちがいます。継続してやっていただければと思います。

吉田委員： 公営塾、中高連携で今年度二人が国公立大学合格ということで町長をはじめ教育長のご尽力が今までの想いが繋がってきているなと思います。生徒本人の努力ももちろんですが、こういういろんな動きがだんだん実績となってきているのかなと感じます。この実績は在校生やこれから受験する中学生にも必ず届くと思いますし、どんどん発信していただければと思います。

公営塾によって虹色コンパスなどいろんな動きが知られないと中学生もどうしているのかわからないと思いますが、公営塾などによって勉強以外の取組みを知ることで入学者の増加につながると

考えられますので今後もこの取組をお願いしたいと思います。

千葉委員： 雫石高校から国公立大学へ2名の合格者があったことで、とても心強く感じました。生徒数が少ないが先生方の手厚い受験への取組みができていると感じます。保護者にとっても安心感や期待感を持っていただけたと思います。引き続き町長を含め行政の支援をお願いしたいなと思います。

二つ目として、いいとこみつけプロジェクト編集委員として編集会議に参加いたしました。雫石の特徴をわかりやすく冊子にしようと取り組んでいる姿がとても良いなと思いました。児童生徒が見るにはビジュアル的にとても分かりやすく町内の良い所を紹介している内容になっています。そしていいところを掲載したリーフレットとなる。とてもいいものができると思いますので子ども達に使っていただきたいなと期待するところです。

三つ目として旧南畑小学校のアーチェリーの整備については、雫石にとってアーチェリーと鶯宿温泉スポーツエリア整備は、雫石の風が向いているような気がします。ぜひともそういう面で完結していただいて雫石のこれからを担うエリアにぜひなって欲しいと思うところです。

また、生涯学習では、前の教育長や上原先生などが子ども達のために本を寄贈してくださり、本に親しむことができています。

さらに行政から予算をつけていただいて生涯学習の充実に繋がればと思います。

教育長： 図書館については、入るとすごく環境が良くて気持ちが落ち着きます。

是非公的な施設の中で読書を大事にしていかなければならないと改めて今、感じました。

町長： アーチェリー場に関しては今年秋には完成すると思いますが、雫石町をアーチェリーのまちにし、月に1，2回子ども達にアーチェリー体験を行い徐々に大きくし最後はオリンピックに出すというのが目標です。

菅原委員： ICT教育について、今後に向けていじめの新しいツールにならないように、もう少し踏み込んでこういう方法でいじめを防ぎましょうというのが入ると良いかなと思います。活用の部分でパソコンでなければできないようなシュミレーションや大量の情報処理、子ども達の健康カードなどの活用が図られれば良いと思います。検討委員会を活発化し先進地視察や講師を招聘し先生方への研修会の実施など出来ればよいと思います。

不登校については、環境の変化によるものなど理由は様々であり全国的にも苦勞していると思います。数字を見ると特効薬もないし十人十色なの

で、一緒くたにして乱暴な議論はできないですし、10手を打っても1人改善できるかあるいは改善できない方が多いかもしれないですが、学校でもその辺り分析しながら進めていただければと思います。

それから、アーチェリーについてですが普及するような事業をして非常にいいなと思います。子ども達にどれだけ触れてもらうか更に工夫し進めてもらえればと思います。

教育長： ICT関係でいじめがきっかけになるというそういうツールにならないよう各学校の先生方は意識しているのですが町教育委員会として4月より徹底していきたいと思います。

また不登校については、やはり400人規模で24、25人は少なくはないです。先生方も日々の教育と家庭訪問や個々の生徒や家庭、保護者に対しできるだけの支援や相談をしているところですが、更にいろいろな方策が個別で違おうだろうと思います。そこをもう一度学校と協議しながら対策については早めに行っていければと思います。

アーチェリーについては、今年度5回体験教室を行いました。残念ながらコロナでできなかった分もあります。継続しながら合間を縫いアーチェリー体験を子ども達が親しみを持てるように進めていければと思っております。

副町長： 不登校について、中学校の学年が上がるにしたがってこれまでは増加する傾向にあるということでしたが、個別の理由があるにしても3年生が少ないと感じました。

## (2) 令和4年度施政方針について

### 【(2) について教育長より説明】

町長： 今説明ありました教育長施政方針について何かご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

もしなければ後でゆっくり読んでいただきご意見を教育次長へお知らせ願いたいと思います。

## 8 その他

政策推進課長： ありがとうございます。議題は以上で終了します。次第4その他になりますが、委員の皆様から全体を通して何かありましたらお願いいたします。

岩持委員： 子ども達のワクチンは雫石町はどうなっているのでしょうか。市町村によってバラバラのようですが。

町長： おそらく若干送れますが雫石町は早い方です。

副町長： まだ子ども達への通知がないので町独自でやるということではできません。

町長： ファイザーがなくなりモデルナになりその状況を見ているところで今度おそらくモデルナが主体になってくると思います。

政策推進課長： ありがとうございます。本日の議題いろいろありましたが今後とも教育行政につきましてご協力よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上を持ちまして第3回雫石町総合教育会議を閉会させていただきます。

大変ありがとうございました。

## 9 閉 会